



国立大学法人豊橋技術科学大学
開学30周年記念事業
—確かな礎から未来へ—



第6回東三河サイエンスカフェ

2008年1月17日(木)

午後6時30分~8時00分

豊橋駅前サテライトオフィス

<http://www.ita.tutkie.tut.ac.jp/~kawai/cs/>

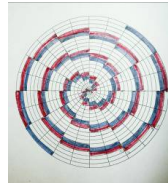
サイエンスカフェは、講演会や体験講座とは違い、ゲストスピーカーやほかの参加者とのフランクな語らいを楽しむ場です。どうぞ、サイエンスについて語らう楽しみを満喫してください。

パラボラからカーブ(曲線)を眺めよう! —アルキメデスの時代から現代 社会の利用(太陽光など)へ—

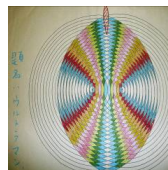
ホームランのボールの軌跡や噴水の水のかたちは、パラボリックカーブつまり放物線です。私たちのまわりには、パラボラアンテナやソーラーライターなど、この放物線の性質を利用して作られていますし、ギリシアのオリンピアでの聖火の採火でも太陽光を利用しています。

また、ハレー彗星や地球などの惑星の軌道は、太陽をひとつの焦点として楕円を描いています。これらのカーブはなぜ曲がっているのか? どんな美しさがあるのか? 何から見つけられるのか? 原理を考えて見たいと思います。

さらに、洋服に使われているサインカーブや蚊取り線香の形のらせんなど放物線や楕円だけでなく、いろいろなカーブを折り紙や塗り絵で描いてみましょう。



蚊取り線香?
(アルキメデスのらせん)



ウルトラマン?
(双曲線の塗り絵)



たまごか?それとも地震波か?
(楕円の塗り絵)

★ゲストスピーカー:

鈴木 康真 先生
愛知県立
豊橋南高等学校

★先生のご専門:

数学

★先生からの一言:

数学は、われわれの生活の中でいろいろな分野において利用されています。このカーブはTVアンテナに使われているとか。また、このカーブは、洋服に使われているなど様々な性質や意味がわかると人生豊かになった気がします。

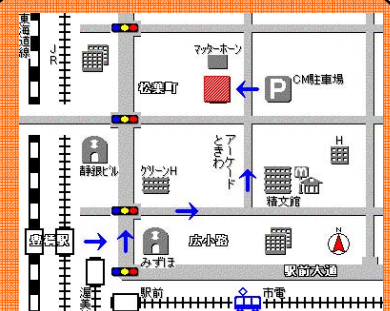
★対象: 高校生以上どなたでも。参加費無料。定員20名。定員に達し次第しめきります。

事前に参加申込をしてください。

★申込: 参加希望の方は、「第6回参加希望」と明記し、「氏名」「年齢」「連絡先(電話番号またはメールアドレス)」をお書きの上、下記のメールアドレスまたはFAXあてお申込みください。

東三河サイエンスカフェ事務局
メール: chiren@office.tut.ac.jp
FAX: (0532)44-6509
申込〆切: 1月16日(水) 正午

★ご連絡いただいた個人情報、申込受付等の連絡業務にのみ使用します。



★会場(豊橋技術科学大学豊橋駅前サテライトオフィス): 豊橋駅から、広小路とおり、ときわアーケードを通り抜けた先の左側にあります。駅から徒歩5分。電話: (0532)55-8252